

なんYA!かんYA!

毎日なんやかんやあるけど、昼ごはんを食べる時間はみんなもひと息つけるかな？今回は世界の学校の昼ごはんを調べてみました！気になるランチはあるかな？



ドイツ



午前中で授業が終わる学校が多いから、昼ごはんも家に帰って軽食を食べたり、友だちとパン屋さんでサンドイッチを買って食べたりするそうだよ。

学校の給食は地域の農家やパン屋さんから届く材料で作られる。子どもが健康的で新鮮なものを食べられるように、地元のものを使うことが法律で決まっているんだ。

ブラジル



アメリカ



給食のない学校が多いから、みんなお弁当を持ってくるか、カフェテリアで買う。食べる場所も自由で、好きなところで食べるよ。校庭のベンチでもいいんだって。

日本と同じように給食があるよ。でも配膳係が配るのではなく、ワンプレートの食器に一人一人が自分の食べたい分だけよそうんだって。

韓国



出典：『現地取材！世界のくらし』（ポプラ社）、『ようこそみんなの世界へ』（化学同人）、「高校生新聞オンライン」（インターネット）より

トショブラ♥ ～本の修理～

図書館から借りた本を濡らしてしまった、借りた本が破れていた、そんなときは慌てず、そのまま図書館へ持ってきてください。

気持ちよく読めるよう、また長い間利用できるよう、図書館では、専用の用具で本の修理をしています。水濡れした本は、紙を挟み重しで押さえ水分を取りながらしわを伸ばし、波打のまま乾いてしまった場合は、蒸気を当てて伸ばしています。破れたページは、のりや専用のテープで貼り合わせています。ほかにも様々な方法で修理を行っています。

発行：甲賀市図書館

水口図書館：63-7400 土山図書館：66-1056

甲賀図書情報館：88-7246 甲南図書交流館：86-1504

信楽図書館：82-0320

ホームページ：<https://lib.city.koka.lg.jp/>

Book guide for Young Adult

甲賀市図書館ヤングアダルト通信



vol.18

2023. Winter -Spring

Koka City Library

ヤングアダルト（Young Adult）とは、中学生・高校生を中心とした大人と子どもの境目の世代「若い大人」「大人になりつつある人」という意味です。

甲賀市図書館ヤングアダルト通信『ホンマニ！』では、ヤングアダルト世代のあなたに、おすすめの本を紹介します。

おすすめ この1冊



★まっすぐに凸凹な「平和の使者」たち

『ピースメーカー』

小路幸也／著 ポプラ社

伝統ある赤星中学校では、運動部と文化部の戦いも伝統的に続いていた。唯一その2つを結びつけられるという放送部に入った良平。顧問は近所のお兄さんでもあるコウモリ先生。良平の姉は在籍中にその魅力を武器に両者の争いを止めていたが、卒業後は更に激しくなっていた。良平は相棒のケンちゃんとともに、放送機材と知恵・愛嬌を武器にする。両者が関係した学校の事件を解決することで、争いを収め双方を繋ぐ架け橋「ピースメーカー」となることを目指すのだった。

レコード、トランシーバーや石炭ストーブが出てくる少し昔の学校での、部活動や学校行事など今も昔も変わらない青春を描いたストーリー。

●探究は、なにかに興味を持つところがスタートです！

『知りたい気持ちに火をつけろ！』

木下通子／著 岩波書店



学校図書館で働いている著者が探究学習などの幅広い学びに役立つ学校図書館の利用方法を紹介。根拠の判りにくいインターネット情報の見極め方や新聞社等のデータベースの活用方法、新書の情報を奥付や目次などから読み取るための「点検読書」などが詳しく書かれています。コロナ禍で急激に進んだ学校と学校図書館のDX化にまつわる苦労や、YouTube番組を始めたり、子ども食堂に本を置いたりといった地域に広がる読書活動の様子も紹介されています。これを読んで、君も課題をクリアして行こう！

●この文房具を買えば間違いない！

『文房具の解剖図鑑』

ヨシムラマリ＋トヨオカアキヒコ／著 エクスナレッジ



学校やプライベートで、当たり前のように使っている文房具。皆さんは、その仕組みや生い立ちについて考えたことがありますか。定番ものから話題の新商品など豊富なイラストを交えて紹介してあるのがこの解剖図鑑。例えば、はさみの切れ味の決め手は「30度」。厚紙でもテコの原理で軽々とじられるホッチキス。のりのルーツは米粒。消しゴムはパン！？鉛筆は羊飼いの大発見！等々。その使い心地は、使ってこそ本領発揮の文房具たちです。あなたのお気に入り文房具はどれですか？

●色々なアズマヤに魅せられ、大冒険！

『ニワシドリのひみつをもとめて』

鈴木まもる／著 評論社



工作や絵が好きだった著者は、子どものころ図書館で、ものづくりをしているふしぎな鳥の写真を見つけて親近感がわき、ずっと気になっていました。やがて絵本作家になると、その鳥「ニワシドリ」の謎に迫るため、秘境へと旅に出ます。

ニワシドリは、アズマヤという小屋のようなものを作るのですが、いったい何のためなのか…。イラストもたっぴりでイメージしやすく、一緒に旅をしている気持ちになれます。また、自分の好きなことを大事にしたいなと思える一冊です。

●名言が今日もあなたを救います！

『トイレでハッピーになる366の言葉 10代のきみにエールを！』

ひきたよしあき／著 主婦の友社



朝、目覚めたとき“今日も良い日になりますように”と誰もが願います。今日のテスト、明日の試合、明後日が締め切りの課題など、問題は山積み。でも、心配ご無用！トイレにこの本があれば（もちろんトイレに置かなくても）今日の日付のページにある名言が、あなたを勇気づけてくれます。また、書物占いとしても利用可能。尋ねたいことを心の中で念じてパッと本を開ければ、そこにあなたへの答えが書かれています。ぜひ、この占いも試してみては。

●自分の信じる道を進む成瀬が、きっとあなたも大好きになる！

『成瀬は天下を取りにいく』

宮島未奈／著 新潮社



滋賀県民から長く親しまれた西武大津店が閉店を迎えたのは、2020年の夏。学校行事や部活が縮小や中止になったあの夏、あなたは何か挑戦しましたか？

8月、地元テレビ局が西武から毎日中継すると知った成瀬あかりは、その中継に毎日映ると宣言。コロナ禍の中2の夏休みを「西武に捧げる」と言う。成瀬の挑戦に付き合うことになった幼馴染の島崎は…。いつも全力の成瀬が可笑しくて素敵で、なぜか希望が湧いてくる！県民おなじみの風景が登場するのも魅力の青春小説です。

●死を知ることとは生を知ること

『徳治郎とボク』

花形みつる／著 理論社



徳治郎はボクの祖父。大正12年生まれ。筋の通った頑固者。だいたいのが、それがどんなに便利でも新しくても高価でも気に入らない。朝起きて畑に行き、夜寝るまで一度決めたルーティンは、正月だろうが何だろうが変えない。そんな祖父のガキ大将だった頃の話聞くうちに、ボクはだんだん祖父に惹き込まれ大好きになっていく。

これは徳治郎とボクの4歳から小学6年生までの物語。清々しく生き抜いた祖父徳治郎がボクに残したものは？